令和３年度 調査業務指導者育成支援研修 実施結果について（お知らせ）

令和４年３月

独立行政法人工業所有権情報・研修館

当館で令和３年度に実施いたしました標記研修の実施結果について、以下のとおりお知らせいたします。

１．研修概要

（１）開催日：令和４年３月１６日～１７日

（２）開催場所：オンライン（Teams）による開催

（３）受講証書交付人数：２６名

２．アンケート結果

（１）研修の総合評価

非常に有意義だった	15 名	58%
有意義だった	11 名	42%
あまり有意義でなかった	0 名	0%
有意義でなかった	0 名	0%

（２）研修生からのコメント

・「審査基準（進歩性判断）：記載不備、組み合わせの判断について考えさせられました。・・・。指導者としての役割：審査官を統括される方からのご指導を受けられ、今後より建設的に業務にあたれそうです。」（研修全体）

・「様々な人の意見を聞くことができ、大変参考になりました。自社の状況に当てはめて、実践できそうなものは取り入れて改善していきたいと考えています。」（研修全体）

・「クラスタ検索のヒストグラム機能はこれまで活用した経験がないので今後は是非活用してみたい。数値限定発明の上限値下限値の臨界的意義や技術的意義に関する視点は参考になった。」（審査基準）

・「審査官が拒絶理由通知を作成する考え方の過程がよくわかった。」、「様々なケースを想定しながら文献の組み合わせを考える練習ができた点が参考になった。」（進歩性判断のケーススタディ）

・「調査業務指導者の業務内容や考慮すべき点がテキストにコンパクトに纏めてあったよかった。」（指導者に求められるマネジメント）

・「多くの事例を挙げて説明していただき非常にわかりやすかった（中略）。審査室の考えていることが伝わってきて非常に有意義でした。」、「トラブル時の対応について他機関の方々や講師の方から考えを伺えたのはとても参考になった。」（調査業務実施者指導演習）